

(別紙)

令和5年9月定例会議 一般質問

2番議員 吉田 敏郎

学校現場の現状と更なる教育環境の整備を問う

文科省は、これからの新しい時代に相応しい学校づくりの在り方として、「学校が楽しい」「学校で仕事が出来てうれしい」と、“教員・子どもが双方に幸せを感じる”ウェルビーイングな学校施設を創造していくことを提唱している。将来が予測困難な社会、複雑化・多様化するカリキュラム、教職員の多忙化、不登校やいじめ、コロナ禍など、学校現場には様々な課題への対応が求められている。

当町では、幼・小・中学校の長寿命化改修や一人一台端末の導入など多機能化が進められており、また、産業医による教職員へのメンタルヘルス対応もしっかりとしている。しかしながら、昨年(2022)の12月26日文科省は令和3年度に精神疾患により休職に至った公立学校職員の人数は過去最多を更新したと公表している。

そこで、教職員が教職の更なる魅力向上のために、幼児・児童・生徒が更なる学校生活向上のために、次なる事項を問う。

- (1) 教職員の働き方改革の現状と課題は。
- (2) 幼児・児童・生徒の学校生活の現状と課題は。
- (3) 教職員のメンタルヘルス対策は。
- (4) 公立学校体育館へのエアコン整備を。